木村秋則 自然栽培実践塾 実践レポート NO. 5

NО. 5 稲育苗用培養土の温度計測

2月27日、稲育苗培養土の温度を測ってきました。土を作成してから10日経ったので、温度の計測の経過をレポートします。





24. 1℃です。10日後くらいには70℃に到達すると思っていたので、予想との差は相当あります。どうしたのでしょうか・・?

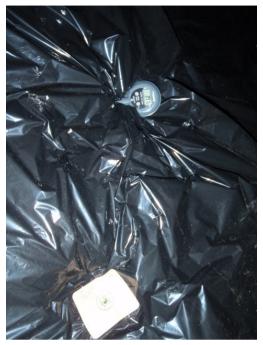
ちなみにそれまでの経過を示してみますと・・

17日	18日	2 1 日	22日	23日	24日	25日	27日
4. 5°C	6.0°C	5. 5°C	6. 1°C	8. 3°C	11. 3°C	20.5°C	24. 1°C

こんな感じです。上がっては来てるのですが。

ここ数日は、外気温より明らかに高いので、土の内部から発熱しているのは間違いないようです。原因は何なのでしょうか?

ふと上の方を触ってみますと・・・? 温かいです!温度を計測してみますと・・



37・1°Cです!(下のパレットから15センチ前後の場所)。下にある四角は 計測ポイントです。

さらに上のほうを計測してみますと・・(下のパレットから30センチ前後の場所)



46.9℃です!微生物の皆さんありがとう!!

もしやと思い、山の一番下から数センチの、別の場所を計測してみますと・・・



やはりです。16.6℃しかありません。46.9℃のポイントは、ちょうどジョーロで水をかけたあたりだと思われます。おそらく発熱しているのは、水分を調節した土と、米ぬかの接触している付近だと思われます。

私達は温度の計測ポイントを、下から一層目のまん中あたりに設定してありました。(高さは10センチ前後。17日の時点では四角の目印シールを貼っていませんでした。)



この計測ポイントは、しばらくするともっと温度が上昇してくるのでしょうか?そもそも 計測ポイントの選び方が間違っているのでしょうか?上部の46.9℃のポイントは7 0℃まで上がるのでしょうか?とりあえずもう少し様子を見てみる事にします。